



女性防災会
活動報告 34

夏休み自由研究企画♪

親子で防災さんぽ☆

日時：令和3年8月1日（日）10時～12時

場所：北島町総合庁舎7階大ホールとその周辺

北島町女性防災会では、夏休みの宿題に防災を取り入れてほしいと、親子で参加できるイベントを企画してきました。3回目の今年は、「防災さんぽ」を行いました。

防災さんぽとは災害時に自分が避難する場所(避難場所)まで歩くことです。自分の避難場所がどこにあるか、途中で危険がないかをチェックでき、子どもでも大人でも気軽に散歩しながら災害に備えることができます。

初めに、たくさんの写真を見て地震や洪水が起こると町がどうなるのかを勉強しました。町の中には危険なものや役立つものがあり、大きな看板や自動販売機、古いブロック塀は地震の時には倒れて危険。しかもその倒れたものや壊れた家が狭い道を塞いで通れなくなることがあるとわかりました。そのため、自分の家から避難場所までの道(避難路)はハザードマップで2通り以上考えました。避難路が通れなくなった時に慌てないためです。

災害時に役立つものには、災害時でもつながりやすい公衆電話や、避難場所のマークがあります。また、倒れると危険なものである自動販売機も、『災害対応型の自動販売機』なら災害時に飲み物が無料で出てくるので役に立つものでもあったと学びました。

その後会場の周辺を、班に分かれて防災さんぽに出かけました。危険なものや役立つものなどの発見をシールを使って地図に書き込みます。子ども達は見つけるのがとても上手で、シールが足りなくなる程でした。周りをキョロキョロ見渡し、班で気づいたことを言い合いなが



災害が起こるとどうなるの??



避難経路を確認してみよう!

自宅から避難場所に向かう経路を2～3コース想定しておきましょう。その際なるべく避けるべきポイントをチェックします。また通りの経路や夜間でも避難できるのかを覚えておくことも必要となります。



ら防災さんぽを楽しんでいました。今回は会場である総合庁舎の周辺を歩きましたが、自分の家から避難場所までもう一度防災さんぽして自由研究を仕上げてくださいと、会を締めくくりました。

防災さんぽの良いところはたくさんあります。予め危険を知っていれば、それを避けて避難できます。避難路を歩き慣れば、パニックになっても行動できます。避難にかかる時間もわかります。また、避難リュックを背負って歩いてみれば、自分が持って逃げられる量もチェックできます。そして何より散歩は健康にいいのです。家族やご近所みんなで、楽しみながら防災さんぽをしてみてください。今回参加した子ども達には、ここで学んだことを家族に話したり、学校で発表したりして、防災さんぽの良さと楽しさをたくさんの人に伝えてほしいと思っています。

(女性防災会 LINE 報告より引用)

